

平成30年
つちのえいぬとし
戊戌年

新年祭事のお知らせ

はつもうで 初詣



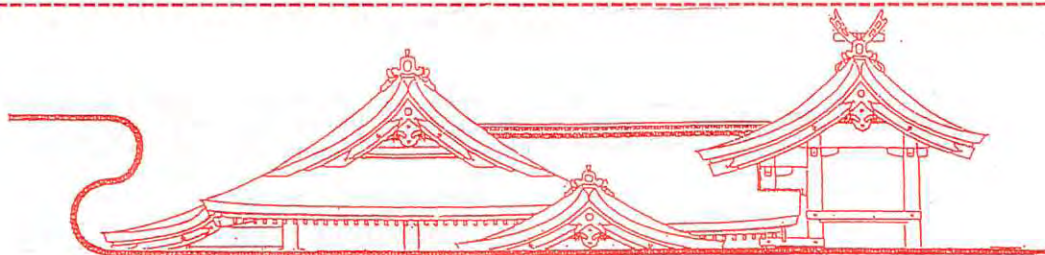
はつもうで いにしえ あらたま
初詣は古代より新玉に感謝報恩を捧げる自然信仰で生活に根付いた日本民族的
習慣であります。祖先神や産土神（氏神）に新年のご挨拶をし、昨年1年間の感謝
をし、今年も1年間さらに素晴らしいご加護を受けられるように今年の抱負と決
意を念じ心を込めてお祈りいたしましょう。ご家族おそろいでご参拝くださいませ。

さいたんさい 歳旦祭

平成30年1月1日・午前10時から・ご本殿にて齋行致します。
平成30年の新しく迎えた年を祝い、氏神様に感謝をし、ご神前に
皇室の弥栄・国家の安寧・氏子崇敬者とご家族の益々のご多幸を
ことば
言祝ぐ神事であります。
本殿での昇殿参拝にはご祈禱記念品（授与品）をご用意しております。



やくはらいきとう 厄祓祈禱の日



本厄は、男性が25歳、42歳、61歳、女性が19歳、33歳、37歳、61歳の年回りを言います。中でも男性の42歳、女性の33歳は大厄と言われております。

平成30年の厄年年齢

	前 厄		本 厄		後 厄	
	年齢	誕生年	年齢	誕生年	年齢	誕生年
男 性	24歳	平成7年生れ	25歳	平成6年生れ	26歳	平成5年生れ
	41歳	昭和53年生れ	42歳	昭和52年生れ	43歳	昭和51年生れ
	60歳	昭和34年生れ	61歳	昭和33年生れ	62歳	昭和32年生れ
女 性	18歳	平成13年生れ	19歳	平成12年生れ	20歳	平成11年生れ
	32歳	昭和62年生れ	33歳	昭和61年生れ	34歳	昭和60年生れ
	36歳	昭和58年生れ	37歳	昭和57年生れ	38歳	昭和56年生れ
	60歳	昭和34年生れ	61歳	昭和33年生れ	62歳	昭和32年生れ

お正月厄祓日

1月2日(火)・3日(水)・4日(木)

◇「厄祓い祈禱」の齋行時間は午前10時～午後3時まで



◇上記の日以降は御予約日により齋行いたしますので、事前にご連絡戴きますれば、日時の調整をいたします。

厄払祈禱料 御1人 3,000円（当日社務所にてお受けいたします）

※この年齢は数え年です。

どんど焼き (焼納祭)



日 時 1月14日(日)・午前10時～午後2時で終了
場 所 神社境内
〔お持込みは午後2時までお願いします〕

—どんど焼きについて—

どんど焼きとは、1年間にわたってご守護を戴いた御神札やお守り
などを御神火によって焼納する神事のことです。

しかしながら、昨今、神事とは関係のない物が持ち込まれるようになっております。

右の「お納めできる物」だけをお持ちくださるようお願いいたします。

—お納めできる物—

御神札・お守り・御神矢・しめ飾り・しめ縄・おみくじ
神棚・松飾りなど

※ただし、ダイオキシンの発生する塩化ビニル類（吸盤等）
やプラスチックなどは取り除いてお持ちください。

—お断りしている物—

仏具・写真類・食品・陶磁器・不燃物・プラスチック類
図書・だるま・お人形・衣類・その他日用雑貨品や神事に
関係のない物はすべてお断りいたしております。

せつぶんやくはら

・節分厄祓い・

2月3日(土) 午前10時～午後2時まで

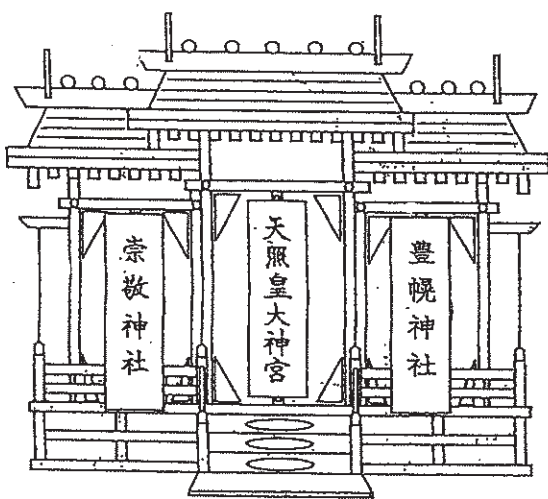


1年二十四節季のうち、立春に巡る節季が2月3日にあたり、昔は正月節とも言われました。節分の行事には
ついな追儼ついなやさいもん豆まき(豆打ち)などがあり、追儼は祭文を奏して鬼に扮した人を
ゆみや桃の弓矢、棒などで追って悪疫邪気を退けようとするもので
おにや「鬼遣らい」などとも呼ばれます。

せつぶんさい神社では節分祭と呼び、その日は邪気を祓い、福を呼び、
むびょうそくさい無病息災を祈る節分行事が行われるようになりました。

《各種ご祈願ご祈祷お祓いについて》

各月ともにご希望の日を予めご予約にて申し受けます。



■扉が三つの場合

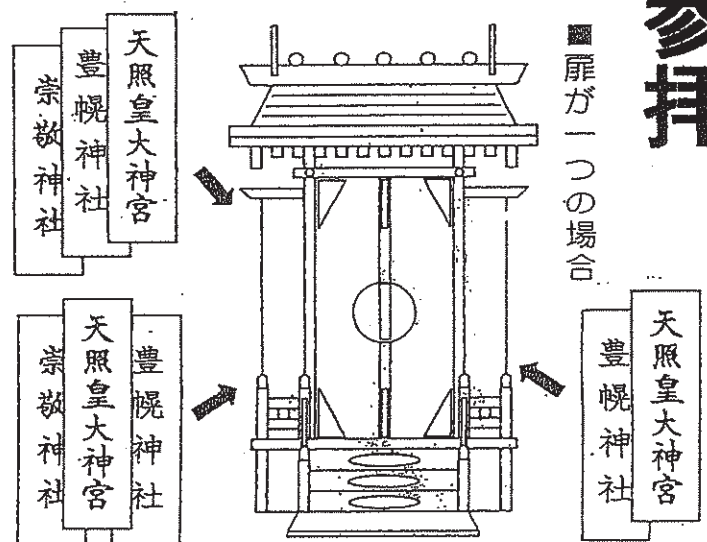
一家庭の神社
 神社で授けられるお神札は、神様の
 神威がこめられた神聖なものです。
 ご家庭で神棚を設け、日々の暮らしを
 守護していただける事は至極の幸せであ
 りましょう。

神棚の設置は基本的には東向き、又は
 南向きに、人の目線よりも高いところに
 設置致します。上階に生活空間がある場
 合にはその天井に「雲」と書いた紙を貼り
 付けます。

団地などで神棚を設けづらい場合に
 は、家具などの上段に白紙を敷きその上
 にお祀りするようにします。

神棚にお祀りするお神札は日本全国を
 守護する「天照皇大神宮」とその土地を
 守護している「豊幌神社」のお神札を、そ
 して各位が敬っている「崇敬神社」のお神
 札の三種類です。ちなみに崇敬神社のお
 神札は複数でも構いません。

365日お家で参拝



■扉が一つの場合

お神札は一年ごとに新しいものにお取
 り替えます。古いお神札はどんど焼き
 にてお焚き上げを致します。

私達が毎日食事をするように、神様も
 お食事をします。その為、毎日、神棚には
 毎日お供え物を捧げ、お参りするよう
 にしましょう。お供え物は、米、塩、水、お酒
 などを供え、節日には山海の幸をお供え
 物として捧げます。

特に朔日と十五日には神様が皆々の声
 を聴く日として待っております。この日
 はお取り替えるのが一番好ましいとさ
 れております。米、水、塩、のお供え物は毎
 朝捧げ、神社の参拝作法と同じように、二
 礼二拍手一礼の作法でお参ります。

お取り替えたお供え物は、家族でい
 ただきます。こうして神様と同じ食事を
 することで日々の暮らしをお守りいた
 けるのであります。

参考文献「神社と神様」

社報
76号

豊幌神社

お問い合わせ
お申し込み
ご連絡電話 385-2837
FAX 385-3043